

# 価値創造プロセス

## 長期ビジョン →P19

すべての生活空間に快適さを  
提供するリーディングカンパニー  
を目指して

### 10年後のありたい姿

- 新しい発想とアプローチで、「ものづくり」と「価値創造」を実現する
- 社会・環境の変化に柔軟に対応し、サステナブルな社会に貢献する
- 従業員一人ひとりが「やりがい」「誇り」を持ち、共に「成長」する



企業文化の醸成/コーポレート・ガバナンス/リスクマネジメント/コンプライアンス →P55～62、P63～81

3ヵ年中期経営計画「One Vision, New Stage 2027」/マテリアリティ →P19～22

リケンテクノス ウェイ (ミッション/コア・バリュー/基本行動) →P9～P10

経営資本から展開される事業活動

資本 (2025年度)

資本の高度化に向けて

財務資本

■ 積み上げてきた安定的な財務基盤

総資産額

1,191億円

自己資本比率

56.8%

D/Eレシオ

0.20倍

重点テーマ

■ 政策保有株式の縮減による成長投資の原資創出とキャッシュアロケーションを通じたPBR1.0倍以上の維持

■ 資産効率の追求 (目標ROE10.0%以上)

■ 財務レバレッジの最適化

当社のPBRの推移

2023年度実績

0.86

2024年度実績

0.82

2025年度実績

1.17

2026年度目標

1.0倍以上

これまでの経営を通じて築き上げてきた安定的な財務基盤を維持しながら、現預金圧縮、Cash Conversion Cycle改善、政策保有株式圧縮等のバランスシート改革を通じた資産活用の効率化を進め、創出した資金を積極的に成長/戦略投資および株主還元に応用してまいります。

| 年度       | PBR (倍) |
|----------|---------|
| 2023年度実績 | 0.86    |
| 2024年度実績 | 0.82    |
| 2025年度実績 | 1.17    |
| 2026年度目標 | 1.0倍以上  |

製造資本

■ グローバル拠点連携によるリスク分散と迅速な顧客対応

有形固定資産

305億円

無形固定資産

24億円

生産拠点

15拠点  
(国内：7、海外：8)

重点テーマ

■ 国内・海外での生産設備の増強

■ 最新鋭の機器・設備の導入と製品の安定生産・提供

・ 三重工場の拡張 (国内)

・ 食品包材事業における設備投資 (国内)

・ 熱可塑性エラストマーコンパウンドの生産設備を増強 (国内)

・ DXによる省人化・合理化投資の実施

当社グループでは、製造の基礎となるグローバル製造プロセス指針「リケンス・スタンダード」のもと、製造/品質の向上を図るとともに、製造における課題をグループ全体で共有し、解決を目指す取り組みを強化しています。また、国内では自動化設備・設備故障予兆管理システムの導入、工場ユーティリティ設備の再構築の検討を積極的に進めています。

- 国内・海外での生産設備の増強
- 最新鋭の機器・設備の導入と製品の安定生産・提供
  - 三重工場の拡張 (国内)
  - 食品包材事業における設備投資 (国内)
  - 熱可塑性エラストマーコンパウンドの生産設備を増強 (国内)
  - DXによる省人化・合理化投資の実施

知的資本

■ 蓄積されてきた配合加工技術や生産技術のノウハウ

■ 保有特許による事業優位性の確保

研究開発費

19億円

保有特許数 (国内外)

630件

重点テーマ

■ オープンイノベーションの推進 (産学連携・産産連携による共同研究)

■ 研究開発におけるDX (AIやMI<sup>※</sup>) 活用によるデータ駆動型の研究環境の整備

■ 最新鋭の試作機の導入

※ マテリアルズ・インフォマティクス

当社は、蓄積してきた配合加工技術・生産技術のノウハウの特許化を進め、事業優位性を確保しています。また、オープンイノベーションによる知財創出を重要開発戦略のひとつとして位置づけ、外部機関との連携によってもたらされる新たな発見、イノベーションから得られた知見を活用して新製品・新技術の開発力を高めています。

- オープンイノベーションの推進 (産学連携・産産連携による共同研究)
- 研究開発におけるDX (AIやMI<sup>※</sup>) 活用によるデータ駆動型の研究環境の整備
- 最新鋭の試作機の導入

※ マテリアルズ・インフォマティクス

当社グループは、創業以来培ってきた経営資本を基盤として、新たな価値を創出してきました。今後も、事業活動を通じて価値創造の源泉である6つの経営資本(「財務資本」「製造資本」「知的資本」「人的資本」「社会関係資本」「自然資本」)を戦略的かつ体系的に強化し、持続的な成長を目指していきます。

資本 (2025年度)

資本の高度化に向けて

人的資本

■ 「リケンテクノス ウェイ」を体現するグローバルな人材

従業員数

1,877名  
(世界7ヵ国)

一人当たりの育成費用

141千円

従業員エンゲージメントスコア<sup>※1</sup>

60%

管理職に占めるグローバル人材<sup>※2</sup>の割合

21%

重点テーマ

■ 成長戦略に基づく人材育成計画の遂行

■ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

■ 従業員エンゲージメントの向上

■ 健康経営優良法人の認定取得

当社は、社員一人ひとりが力を発揮できる最適な仕事と環境を提供するとともに、グローバル競争に打ち勝つ人材育成(投資)を積極的に行い、従業員エンゲージメントの向上を図りながら社員の成長と活躍を後押ししています。加えて、健康経営の取り組みを通じて心身のコンディション向上を図り、持続的なパフォーマンス発揮につなげています。また、さらなる価値創造を目指し、多様な人材の活躍を促すため、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進に取り組んでいます。

- 成長戦略に基づく人材育成計画の遂行
- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進
- 従業員エンゲージメントの向上
- 健康経営優良法人の認定取得

社会関係資本

■ グローバル展開

■ ステークホルダーとの丁寧な対話

海外拠点

11拠点

サプライヤー数

約900社

投資家・既存株主との面談

174社

重点テーマ

■ 人権デュー・ディリジェンスを含むサプライヤーエンゲージメントの強化・拡充

■ 顧客対応力の強化

■ 株主・投資家との対話の充実

グローバルに事業を展開する当社グループは、世界中の取引先との信頼関係に基づく持続可能なサプライチェーンの構築に取り組んでいます。株主・投資家の皆様との対話、地域社会への貢献活動を通じて、相互理解を深めています。すべてのステークホルダーとの信頼関係を構築・維持しながら着実な成長を続けることで、より良い社会の実現に貢献していきます。

- 人権デュー・ディリジェンスを含むサプライヤーエンゲージメントの強化・拡充
- 顧客対応力の強化
- 株主・投資家との対話の充実

自然資本

■ 環境貢献製品の開発

■ 工程内リサイクルによる廃棄物の削減

原材料

309千t

総エネルギー投入量

1,411千GJ

水資源投入量

1,003千t

リサイクル率<sup>※</sup>

83.4%

重点テーマ

■ 事業を通じた脱炭素への貢献

■ 購入電力の再生可能エネルギー由来への切り替え、省エネ設備への更新

■ 廃棄物削減による環境負荷の低減

■ レスポンシブル・ケア活動の推進

当社グループは、限りある自然資源を利用して事業を行っていることを認識し、環境との調和に配慮した企業活動に努めています。環境貢献製品の開発をはじめとする事業を通じた環境負荷の低減や、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素の取り組み等を継続し、持続可能な地球環境の実現に貢献していきます。

- 事業を通じた脱炭素への貢献
- 購入電力の再生可能エネルギー由来への切り替え、省エネ設備への更新
- 廃棄物削減による環境負荷の低減
- レスポンシブル・ケア活動の推進

※ 単純(埋立・焼却)廃棄物を除く廃棄物量の総廃棄物量比

15 リケンテクノスグループ 統合報告書 2026

リケンテクノスグループ 統合報告書 2026 16

価値創造の全体像 本業を通じた貢献 地球環境の保全 社会との共生 事業基盤の強化 ステークホルダー データセクション